

科目ナンバリング	G-AAA03 83119 SJ31				
授業科目名 <英訳>	平和共生論の基礎 Theory of Peace and Coexistence	担当者所属・ 職名・氏名	アジア・アフリカ地域研究研究科 教授 中溝 和弥		
配当学年	1-5回生	単位数	2	開講年度・開講期	2024・前期
曜時限	金3	授業形態	演習（対面授業科目）	使用言語	日本語
[授業の概要・目的]					
本演習においては、平和共生論の基礎を学ぶことを目的とする。政治学のディシプリンを中心的に学びながら、各地域への適用可能性を検証する。					
[到達目標]					
平和共生論の理論的な分析枠組みを習得する。その上で、これらの分析枠組みを自らが専門とする地域に適用し、平和共生を実現するための条件を考察する。					
[授業計画と内容]					
本演習で扱うテーマは、次の通りである。なお、受講生と相談し、授業内容を適宜変更する場合がある。					
<ol style="list-style-type: none"> 1．国家形成 2．ナショナリズム 3．政治体制論 4．民主主義論 5．暴力の歴史 6．暴力的紛争の種類 7．日常型の抵抗 8．宗教紛争 					
[履修要件]					
特になし					
[成績評価の方法・観点]					
<ol style="list-style-type: none"> 1．平常点評価（課題、授業への参加状況、授業における発言等）：70% 2．期末レポート：30% <p>の構成とする。</p>					
[教科書]					
授業中に指示する					
----- 平和共生論の基礎(2)へ続く -----					

平和共生論の基礎(2)

[参考書等]

(参考書)
授業中に紹介する

[授業外学修(予習・復習)等]

講読文献については、自分の担当回だけでなく、必ず予習するようにしてください。

(その他(オフィスアワー等))

オフィス・アワーの時間は、特に定めません。面接希望者は、随時連絡を取ってください。

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。

科目ナンバリング	G-AAA03 83116 LE31				
授業科目名 <英訳>	持続型生存基盤と環境 Sustainable Humanosphere and Environment	担当者所属・ 職名・氏名	アジア・アフリカ地域研究研究科 教授 D' SOUZA, Rohan Ignatious		
配当学年	1-5回生	単位数	2	開講年度・開講期	2024・後期
曜時限	火5	授業形態	講義（対面授業科目）	使用言語	英語
【授業の概要・目的】					
Debating Future-Natures: a study of essays on Climate Change, Global Warming and Anthropocene Politics. This course will discuss some of the main essays and writings that have set the tone and context for our understanding of Climate Change, Global Warming and Anthropocene politics as linked worlds involving science, politics and meanings.					
【到達目標】					
TBA					
【授業計画と内容】					
Main Readings: 1) Libby Robin, Sverker Sorlin and Paul Warde (ed.), The Future of Nature, Yale University Press, 2013. 2) Bill McKibben (ed.), The Global Warming Reader, OR Books, 2011.					
【履修要件】					
特になし					
【成績評価の方法・観点】					
TBA					
【教科書】					
授業中に指示する					
【参考書等】					
（参考書） 授業中に紹介する					
【授業外学修（予習・復習）等】					
TBA					
（その他（オフィスアワー等））					
オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。					

科目ナンバリング		G-AAA03 53218 LB31			
授業科目名 <英訳>	イスラーム世界論研究 I The Study of the Islamic World I		担当者所属・ 職名・氏名	アジア・アフリカ地域研究研究科 アジア・アフリカ地域研究研究科 アジア・アフリカ地域研究研究科	准教授 黒田 彩加 教授 東長 靖 教授 長岡 慎介
配当学年	1,2回生	単位数	2	開講年度・開講期	2024・前期
曜時限	金3	授業形態	講義（対面授業科目）	使用言語	日本語
【授業の概要・目的】					
本講義は、イスラーム世界研究のディシプリンの基礎としてのイスラーム学について、その基礎を修得するとともに、基本問題についての表現・発信能力を身につける。各テーマに関して、基本的な問題を論じるとともに、学界および研究の現状を踏まえた論議は行うが、大学院の授業であり、入門的事項は扱わない。					
【到達目標】					
イスラーム思想の基礎的な問題について、正確に知り、理解することを目標とする。イスラーム学はアラビア語を根幹として作り上げられてきた学問なので、概念・術語をアラビア語でどう表現するかはとくに重要である。					
【授業計画と内容】					
イスラーム学の主要なテーマについて(a)講義を行う。必要に応じて、(b)ゼミ、(c)講評会を行うことがある。講義で扱うテーマとしては、以下のとおり予定している。					
1. イントロダクション、2. 文献記入法、3. プラクティカル・ランゲージの学び方、4. クルアーン、5. ハディース、6. ユダヤ教とキリスト教、7. イスラーム神学と哲学、8. シーア派、9. スーフィズム、10. 政治思想、11～14. その他受講生が興味をもつテーマ、15. 全体のまとめ。					
(a)講義は、参加（出席、質問）を主とする。事前にリーディングが指定されていないときは、特に準備は必要ない。必要に応じて、(b)ゼミ(c)講評会を行う。(b)ゼミは、指定されたテキストについて、発表を行うレジュメまたは発表原稿を必ず用意する。(c)講評会は、指定された原稿を書いたものを持ち寄り、講評を受ける。詳細は、都度授業内で指示する。					
【履修要件】					
授業開始以前に、東長靖『イスラームのとらえ方』山川出版社（世界史リブレット15）、小杉泰『イスラームとは何か その宗教・社会・文化』講談社（講談社現代新書）を読了しておくことが望ましい。					
【成績評価の方法・観点】					
以下の4点を総合的に判断する。(1) 講義への参加（出席、質問、討論）。(2) ゼミでのテキスト講読、発表。(3) 講評会での「原稿」提出。(4) 文献リストの作成（イスラーム学＋自己テーマ）。					
----- イスラーム世界論研究 I (2)へ続く -----					

イスラーム世界論研究Ⅰ (2)

[教科書]

使用しない

[参考書等]

(参考書)

西尾哲夫・東長靖編 『中東・イスラーム世界への30の扉』(ミネルヴァ書房, 2021年) ISBN: 9784623091782 (30のトピックから、現代のイスラーム世界を見る。)

[授業外学修(予習・復習)等]

前回の講義で指示された課題がある場合は、それをプリントアウトしたものを提出する。

(その他(オフィスアワー等))

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。

科目ナンバリング		G-AAA03 53219 LJ31			
授業科目名 <英訳>	イスラーム世界論研究ⅠⅡ The Study of the Islamic World II		担当者所属・ 職名・氏名	アジア・アフリカ地域研究研究科 教授 長岡 慎介 アジア・アフリカ地域研究研究科 教授 東長 靖 アジア・アフリカ地域研究研究科 准教授 黒田 彩加	
配当学年	1,2回生	単位数	2	開講年度・開講期	2024・後期
曜時限	金2	授業形態	講義（対面授業科目）	使用言語	日本語
【授業の概要・目的】					
イスラーム世界研究のディシプリンの基礎としてのイスラーム学について、その基礎を修得するとともに、基本問題についての表現・発信能力を身につけることをめざします。各テーマに関して、基本的な問題を論じると共に、学界および研究の現状を踏まえた論議をおこないます。					
【到達目標】					
イスラーム研究、イスラーム世界研究、イスラーム地域研究、中東地域研究などの専門家としての「イスラーム」認識方法を獲得し、学術的な基礎を身につけ、また必要な知識を自分で探索できるようになることを目標とします。					
【授業計画と内容】					
イスラーム学の以下の3つのテーマについて、(a) 講義、(b) ゼミ、(c) 講評会を行います。 初期イスラーム、イスラーム法学（古典期）、イスラーム法学（現代）					
(a)講義は、参加（出席、質問）を主とする。事前にリーディングが指定されていないときは、特に準備は必要ない。					
(b)ゼミは、指定されたテキストについて、全員が発表を行う。レジュメまたは発表原稿を必ず用意すること。一人あたりの持ち時間は7分程度。					
(c)講評会は、指定された原稿を書いたものを持ち寄り、講評を受ける。書かれた原稿を読み上げる以外に、各自の持ち時間はない。なお、言うまでもないが、他人の書いたものを丸写ししたり、どこを引用したか分からないような形で用いることは「剽窃」となる。正規のルールに基づく「引用は可。講評を踏まえて、清書原稿を再提出する。					
【履修要件】					
この講義は大学院開講科目ですので、イスラーム全般についての基礎的・一般的解説は行いません。基礎的・一般的解説を希望する学生は、学部向け全学共通科目「イスラーム学の基礎」を受講してください。					
また、受講者は、初回授業で提示される読書レポート課題（それぞれA4×2頁以上）に取り組み、10月末までに提出してください。（成績には加味されませんが、この課題の提出が履修自体の要件になります）					
【成績評価の方法・観点】					
以下の4項目を足し合わせた形（それぞれ20点ずつ）で成績を出します。					
(1) 出席点（遅刻はカウントしません）					
(2) 講義への貢献度（質問、討論）					
(3) ゼミでの発表パフォーマンス					
(4) 講評会およびそれを踏まえて提出された清書原稿のパフォーマンス					
(5) 期末課題					
イスラーム世界論研究ⅠⅡ(2)へ続く					

イスラーム世界論研究ⅠⅠ(2)

[教科書]

大塚和夫ほか編 『岩波イスラーム辞典』(岩波書店)

小杉泰、林佳世子、東長靖編 『イスラーム世界研究マニュアル』(名古屋大学出版会)

『岩波イスラーム辞典』は毎回の授業に持参すること(CD-ROM版でも可)。『イスラーム世界研究マニュアル』は(b)ゼミのレジュメ作成のための必携書である。

[参考書等]

(参考書)

小杉泰 『9・11以後のイスラーム政治』(岩波書店)

小杉泰 『イスラーム帝国のジハード』(講談社学術文庫)

小杉泰 『現代イスラーム世界論』(名古屋大学出版会)

小杉泰 『イスラーム文明と国家の形成』(京都大学学術出版会)

小杉泰・黒田賢治・二ツ山達朗編 『大学生・社会人のためのイスラーム講座』(ナカニシヤ出版)

末近浩太 『イスラーム主義 もう一つの近代を構想する』(岩波新書)

西尾哲夫・東長靖編 『中東・イスラーム世界への30の扉』(ミネルヴァ書房)

長岡慎介 『現代イスラーム金融論』(名古屋大学出版会)

[授業外学修(予習・復習)等]

本講義は、イスラーム世界論講座のコア科目です。大量の課題を出しますので、講義に向けて入念な予習と準備をしてきてください。

(その他(オフィスアワー等))

受講希望者は必ず10月の初回授業に出席できるように、夏のフィールドワークの計画を立てるようにしてください。(途中参加による成績面での救済措置・フォローアップは行いません)

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。

科目ナンバリング	G-AAA03 53209 LJ31				
授業科目名 <英訳>	イスラーム社会経済論 Islamic Society and Economics I	担当者所属・ 職名・氏名	アジア・アフリカ地域研究研究科 教授 長岡 慎介		
配当学年	1,2回生	単位数	2	開講年度・開講期	2024・前期
曜時限	金2	授業形態	講義（対面授業科目）	使用言語	日本語
[授業の概要・目的]					
本講義は、イスラーム世界における経済・社会システムについて、その思想と理論・実践の現状、研究の最新動向を学びます。					
[到達目標]					
本講義で取り上げる文献の批判的講読を通じて、自らのイスラーム経済研究をよりブラッシュアップすることをめざします。					
[授業計画と内容]					
授業計画と内容 イスラーム社会経済論の以下の3つのテーマについて、(a) 講義、(b) ゼミ、(c) ゼミを行います。 イスラーム経済の理念と思想、近代イスラーム経済学とイスラーム経済論、資本主義とイスラーム経済 (a)講義は、参加（出席、質問）を主とする。事前にリーディングが指定されていないときは、特に準備は必要ない。 (b)ゼミとは、指定されたテキストについて、全員が発表を行う。レジュメまたは発表原稿を必ず用意すること。一人あたりの持ち時間は7分程度。					
[履修要件]					
この講義は大学院開講科目ですので、イスラーム経済についての基礎的・一般的解説は行いません。基礎的・一般的解説を希望する学生は、学部向け全学共通科目「イスラーム経済論」を受講してください。 また、受講者は、初回授業で提示される読書レポート課題（それぞれA4×2頁以上）に取り組み、4月末までに提出してください。（成績には加味されませんが、この課題の提出が履修自体の要件になります）					
[成績評価の方法・観点]					
成績評価の方法・観点 以下の4項目を足し合わせた形（それぞれ20点ずつ）で成績を出します。 (1) 出席点（遅刻はカウントしません） (2) 講義への貢献度（質問、討論） (3) ゼミでの発表パフォーマンス (4) 期末課題					
----- イスラーム社会経済論 (2)へ続く -----					

イスラーム社会経済論 (2)

[教科書]

授業中に指示する

[参考書等]

(参考書)
授業中に紹介する

[授業外学修(予習・復習)等]

大量の課題を出しますので、講義に向けて入念な予習と準備をしてきてください。

(その他(オフィスアワー等))

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。

科目ナンバリング	G-AAA03 53207 LJ31				
授業科目名 <英訳>	中央アジア地域研究論 Central Asian Area Studies	担当者所属・ 職名・氏名	東南アジア地域研究研究所 教授 帯谷 知可		
配当学年	1,2回生	単位数	2	開講年度・開講期	2024・後期
曜時限	金2	授業形態	講義（対面授業科目）	使用言語	日本語
[授業の概要・目的]					
<p>旧ソ連中央アジア（ウズベキスタン、カザフスタン、クルグズ、タジキスタン、トルクメニスタン）はユーラシア大陸の中心部に位置し、ペルシア語／テュルク語とイスラームを歴史的な文化基盤としながらも、ロシア・ソ連文化の波を受け、社会主義とそのもとでの近代化を経験した興味深い地域である。</p> <p>この地域の現在を理解するための基本的視座を提供することを目的として、その近現代史を振り返る。</p>					
[到達目標]					
旧ソ連中央アジアの重層的な文化基層を理解し、ソ連解体以降生じた変容と新たな研究領域について概要を説明できるようになる。					
[授業計画と内容]					
<p>以下のようなテーマ設定のもとで、15回の授業を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1．地域概念としての中央アジア、中央アジアへの視点（第1回） 2．帝政ロシアの中央アジア征服とその統治（第2～3回） 3．中央アジアとロシア革命（第4回） 4．ソ連体制下の近代化（第5～6回） 5．ペレストロイカと中央アジア、そしてソ連からの独立へ（第7回） 6．独立後のナショナリズムの諸相（第8～9回） 7．中央アジアのイスラーム（第10回） <p>第11～15回においては、受講者の関心に合わせて、中央アジア関連の研究書の講読や研究発表を行う。</p>					
[履修要件]					
中央アジア地域に関心があること、または中央アジアと比較対照しうる共通項のある地域に関心があることが望ましい。					
[成績評価の方法・観点]					
平常点および期末のレポート。					
----- 中央アジア地域研究論(2)へ続く -----					

中央アジア地域研究論(2)

[教科書]

使用しない

[参考書等]

(参考書)

小松久男他編 『中央ユーラシアを知る事典』(平凡社)(中央ユーラシアに関する読む事典)

宇山智彦編 『中央アジアを知るための60章』(明石書店)(中央アジア地域研究の入門書)

小松久男編 『中央ユーラシア史』(山川出版社)

帯谷知可他編 『朝倉世界地理講座 人間と大地の物語 5 中央アジア』(朝倉書店)(日本の中央ユーラシア地域研究の近年の成果)

岩崎一郎他編 『現代中央アジア論』(日本評論社)(絶版)

宇山智彦・岩崎一郎編 『現代中央アジア 政治・経済・社会』(日本評論社) ISBN:978-4-535-55826-7 (ソ連解体後の政治・経済・社会研究の基本的視座を示す最新版)

帯谷知可編 『ウズベキスタンを知るための60章』(明石書店) ISBN:9784750346373 (ウズベキスタン地域研究の入門編)

その他、適宜授業で紹介する。

[授業外学修(予習・復習)等]

授業期間中に参考文献等としてここにあげた文献、ならびに授業時に配布する参考文献リストにあげてある文献をできるだけ多く読むようにすること。

(その他(オフィスアワー等))

連絡はこちらへ obiya@cseas.kyoto-u.ac.jp

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。

科目ナンバリング		G-AAA03 53217 LJ31			
授業科目名 <英訳>	アジア・アフリカ・スーフィズム論 Asian and African Sufi Studies		担当者所属・ 職名・氏名	人文科学研究所 准教授 中西 竜也 アジア・アフリカ地域研究研究科 教授 東長 靖 アジア・アフリカ地域研究研究科 助教 阿毛 香絵 非常勤講師 鈴木 麻菜美	
配当学年	1,2回生	単位数	2	開講年度・開講期	2024・後期
曜時限	火2	授業形態	講義（対面授業科目）	使用言語	日本語
【授業の概要・目的】					
<p>イスラーム世界のほぼ全域にスーフィズムは広がっている。その諸相を、歴史研究・音楽学・人類学など複数のアプローチから分析する。</p> <p>同一の対象を、別のディシプリン、異なる地域で検討すると、違う側面・共通する側面がともに見えてくる。これからの若い研究者に、学際研究・超域研究の可能性について語る。</p>					
【到達目標】					
アジア・アフリカ地域のスーフィズムについての広い知識を身につけることを目標とする。同時に、相異なるディシプリンを用いて対象を考察する姿勢も身につける。					
【授業計画と内容】					
<p>おおむね、次の順序で授業を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1．オリエンテーション（担当：全教員） 2～3．スーフィズム概説（担当：中西） 4．私のスーフィズム研究（担当：全教員） 5．共通テーマ「個人体験」からみるスーフィズム（担当：全教員） 6～7．歴史研究からみるスーフィズム（担当：中西） 8．共通テーマ「権威」からみるスーフィズム（担当：全教員） 9～10．音楽学から見るスーフィズム（担当：鈴木） 11．共通テーマ「組織・共同体」からみるスーフィズム（担当：全教員） 12～13．人類学から見るスーフィズム（担当：阿毛） 14．共通テーマ「共生」からみるスーフィズム（担当：全教員） 15．受講生による発表と講評（担当：全教員） 					
【履修要件】					
特になし					
【成績評価の方法・観点】					
平常点（50パーセント）とレポート（50パーセント）による。					
【教科書】					
講義時にレジюме等を配布する。					
【参考書等】					
<p>（参考書）</p> <p>東長靖・今松泰 『イスラーム神秘思想の輝き - 愛と知の探求』（山川出版社）ISBN:978-4-634- アジア・アフリカ・スーフィズム論(2)へ続く</p>					

アジア・アフリカ・スーフィズム論(2)

47475-8 (前半はスーフィズム概説、後半はオスマン朝スーフィズム・タリーカ史。)
ティエリー・ザルコンヌ 『スーフィー - イスラームの神秘主義者たち』 (創元社) ISBN:978-4-422-21212-8 (豊富な写真が特徴。東長靖監修。)
東長靖 『イスラームとスーフィズム』 (名古屋大学出版会) ISBN:978-4-8158-0721-4 (専門的な論集だが、第1部は本講義に対する視座として有効。)
高橋圭 『スーフィー教団 - 民衆イスラームの伝統と再生』 (山川出版社) ISBN:978-4-634-47476-5 (日本語で読めるタリーカの唯一の概説書。現代エジプトに焦点を合わせる。)
赤堀雅幸編 『民衆のイスラーム - スーフィー・聖者・精霊の世界』 (山川出版社) ISBN:978-4-634-47452-9 (聖者信仰に重点を置いている。)
赤堀雅幸・東長靖・堀川徹編 『イスラームの神秘主義と聖者信仰』 (東京大学出版会) ISBN:4-13-034187-1 (聖者信仰、スーフィズム[タサウウフ]、タリーカ、サイド・シャリーフ論の4つのジャンルを取り上げ、概論と個別研究を組み合わせたもの。)
濱田正美 『中央アジアのイスラーム』 (山川出版社) ISBN:978-4-634-34700-7 (中央アジアにおけるイスラームおよびスーフィズムの諸相を解説)
中西竜也 『中華と対話するイスラーム 17-19世紀中国ムスリムの思想的営為』 (京都大学学術出版会) ISBN:9784876982738 (中国イスラームに関する専門的論集)
西尾哲夫・東長靖編 『中東・イスラーム世界への30の扉』 (ミネルヴァ書房, 2021年) ISBN:9784623091782 (30のトピックから、現代のイスラーム世界を見る。)
その他、授業中にも適宜紹介する。

[授業外学修(予習・復習)等]

講義内でよく理解できなかった点については、参考図書などを用いて復習すること。

(その他(オフィスアワー等))

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。

科目ナンバリング	G-AAA03 83223 LJ31				
授業科目名 <英訳>	中国のイスラームとスーフィズム Islam and Sufism in China	担当者所属・ 職名・氏名	人文科学研究所 准教授 中西 竜也		
配当学年	1,2回生	単位数	2	開講年度・開講期	2024・前期
曜時限	火3	授業形態	講義（対面授業科目）	使用言語	日本語
【授業の概要・目的】					
<p>中国ムスリム（漢語を話すムスリム）は、17世紀以来、イスラーム・スーフィズムをいかに中国的環境と調和させ、非ムスリムと共存してきたか？ この問題をめぐって、最近の研究動向や関連史料（漢語、アラビア語、ペルシア語）を参照しながら、これからの研究方法について議論する。</p> <p>How have Hui Muslims (Chinese-speaking Muslims) harmonized Islam and Sufism with Chinese milieu to coexist with non-Muslim Chinese people since the 17th century? We discuss the future research methods around this issue, while consulting the relevant recent studies and historical materials (in Chinese, Arabic, and Persian).</p>					
【到達目標】					
<p>中国ムスリムの歴史研究における問題の所在や多言語資料を駆使した研究方法を把握する。 To recognize research topics and methods based on multilingual materials in the study of the history of Hui Muslims.</p>					
【授業計画と内容】					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 導入：中国ムスリムとは誰か？ なぜ彼らの歴史を研究するのか？ 2. 中国ムスリム史概説 1：中国ムスリム社会の形成（16世紀） 3. 中国ムスリム史概説 2：清朝支配下の中国ムスリム（17-18世紀） 4. 中国ムスリム史概説 3：清末の雲南・西北ムスリム大反乱（19世紀） 5. 中国ムスリム史概説 4：民国・人民共和國時代の中国ムスリム（20世紀） 6. 漢語イスラーム文献におけるアラビア語・ペルシア語文献の「翻訳」 1：王岱輿（17世紀半ば）と明末陽明学の隆盛 7. 漢語イスラーム文献におけるアラビア語・ペルシア語文献の「翻訳」 2：劉智（1724年以降没）と清初朱子学の復権 8. 漢語イスラーム文献におけるアラビア語・ペルシア語文献の「翻訳」 3：馬安礼（1901年以降没）と清朝考証学 9. 19世紀の中国ムスリムにおけるイスラーム新思想の受容 1：馬徳新（1874年没）とイブン・アラビー（1240年没）の来世論 10. 19世紀の中国ムスリムにおけるイスラーム新思想の受容 2：馬徳新（1874年没）と聖者崇敬批判 11. 20世紀の中国ムスリムにおけるイスラーム新思想の受容 1：馬安義（1943年没）とイスラーム改革主義 12. 20世紀の中国ムスリムにおけるイスラーム新思想の受容 2：王静斎（1949年没）とウンマ思想 13. 中国のスーフィー教団を如何に研究するか 1 14. 中国のスーフィー教団を如何に研究するか 2 					
----- 中国のイスラームとスーフィズム (2)へ続く -----					

中国のイスラームとスーフィズム (2)

15. まとめ

1. Introduction: Who are Hui Muslims? Why we study their history?
2. General explanation about the history of Hui Muslims 1: The formation of the Hui Muslim (the 16th century).
3. General explanation about the history of Hui Muslims 2: Hui Muslims under the Qing rule (the 17th-18th centuries).
4. General explanation about the history of Hui Muslims 3: The Great Muslim rebellions in Yunnan and Northwest China during the late Qing period (the 19th century).
5. General explanation about the history of Hui Muslims 4 : Hui Muslims in Republic of China and People ' s Republic of China (the 20th century).
6. “ Translation ” of Arabic and Persian texts in Chinese Islamic literatures 1: Wang Daiyu (the middle 17th century) and the rise of the Yangming school of Neo-Confucianism in the late Ming period.
7. “ Translation ” of Arabic and Persian texts in Chinese Islamic literatures 2: Liu Zhi (d. after 1724) and the revival of the Zhuzi school of Neo-Confucianism in the early Qing period.
8. “ Translation ” of Arabic and Persian texts in Chinese Islamic literatures 3: Ma Anli (d. after 1901) and the evidential textual research in the Qing period.
9. Hui Muslims ' reception of new Islamic thoughts during the 19th century 1: Ma Dexin (d. 1874) and Ibn ' Arabi ' s (d. 1240) idea of the afterlife.
10. Hui Muslims ' reception of new Islamic thoughts during the 19th century 2: Ma Dexin (d. 1874) and the criticism against the saint veneration.
11. Hui Muslims ' reception of new Islamic thoughts during the 20th century 1: Ma Anyi (d.1943) and the Islamic reformism.
12. Hui Muslims ' reception of new Islamic thoughts during the 20th century 2: Wang Jingzhai (d. 1949) and the idea of the Umma.
13. How should we study the Sufi order in China? 1
14. How should we study the Sufi order in China? 2
15. Conclusion

【履修要件】

特になし

【成績評価の方法・観点】

授業参加とレポート

participating in discussion and writing an essay

【教科書】

使用しない

必要な資料はE-mailなどで配布。

中国のイスラームとスーフィズム (3)

[参考書等]

(参考書)

中西竜也、増田知之(編) 『よくわかる中国史』(ミネルヴァ書房、2023年)
授業中にも適宜紹介する。

[授業外学修(予習・復習)等]

授業中に指示された文献を読む。

(その他(オフィスアワー等))

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。

科目ナンバリング		G-AAA03 83301 LJ31			
授業科目名 <英訳>	南アジア地域論 South Asian Area Studies I	担当者所属・ 職名・氏名	アジア・アフリカ地域研究研究科 アジア・アフリカ地域研究研究科	教授 教授	藤倉 達郎 池亀 彩
配当学年	1-5回生	単位数	2	開講年度・開講期	2024・前期
曜時限	火2	授業形態	講義（対面授業科目）	使用言語	日本語
[授業の概要・目的]					
<p>地域における出来事／現象を理解するには、人文・社会科学的概念や理論を必要とする。この授業では、社会学・人類学を中心とし、それらの学説史を踏まえながら、基本的な概念と理論を論ずる。そして、それらの知識を、フィールドワークの過程や論文作成においてどのように活用するかについて議論する。</p>					
[到達目標]					
<p>社会学・人類学の基本的な概念と理論を理解し、それらを主体的・批判的に応用する能力をつける。</p> <p>なお、本講義の内容は、後期開講する南アジア地域論IIIにつながるものであり、受講生は引き続き南アジア地域論IIIを受講することを推奨する。（なお、この講義はグローバル地域研究専攻南アジアインド洋世界論講座の授業である。）</p>					
[授業計画と内容]					
<p>授業内容は以下の通り。必要に応じて文献購読も行う。 なお、受講状況により変更することがある。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1．イントロダクション 2．個人と社会 デュルケム『宗教生活の原初形態』 3．個人と社会 デュルケム『宗教生活の原初形態』（2） 4．個人と社会 ウェーバー『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』 5．個人と社会 マルクス『資本論』 6．文化と社会 文化相対主義 7．構造機能主義 マリノフスキー『西太平洋の遠洋航海者』 8．構造主義 レヴィ＝ストロース『今日のトテミズム』 9．文化の解釈 ギアーツ『文化の解釈学』 10．社会と身体 フーコー『監獄の誕生』／『性の歴史I知への意志』 11．社会と身体 バトラー『ジェンダー・トラブル』 12．社会と身体 ブルデュー『実践感覚』 13．アクターネットワーク理論 14．現代的展開と諸問題 15．現代的展開と諸問題 					
[履修要件]					
特になし。					
----- 南アジア地域論 (2)へ続く -----					

南アジア地域論 (2)

[成績評価の方法・観点]

自らの研究関心との関わりで、どの程度講義内容を習得したかを評価する。
評価方法は、平常点および学期末レポート

[教科書]

使用しない

[参考書等]

(参考書)
授業中に紹介する

[授業外学修(予習・復習)等]

授業中に指示する。

(その他(オフィスアワー等))

オフィスアワー： 随時

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。

科目ナンバリング	G-AAA03 83302 LJ31				
授業科目名 <英訳>	南アジア地域論 South Asian Area Studies II	担当者所属・ 職名・氏名	アジア・アフリカ地域研究研究科 教授 池亀 彩		
配当学年	1-5回生	単位数	2	開講年度・開講期	2024・前期
曜時限	火4	授業形態	講義（対面授業科目）	使用言語	日本語
【授業の概要・目的】					
この授業では、南アジア・インドに関する社会・文化人類学の基本文献（日本語＋英語）の購読を通じて、南アジア・インドを研究する上で必要な基本的な知識・理論を身につける事を目的とする。取り上げるテーマは、カースト理論、宗教論、ポストコロニアル批評、サバルタン研究、世俗主義、国家の人類学などである。					
【到達目標】					
南アジア・インドに関する基本的な諸理論を批判的に議論する事を学び、これまでの学術潮流の中に、自分の研究を位置付ける事ができるようになる。					
【授業計画と内容】					
1．イントロダクション 2．カースト論 1 デュモンのカースト論（1） 3．カースト論 2 デュモンのカースト論（2） 4．カースト論 3 デュモン批判：王権論 5．カースト論 4 デュモン批判：植民地主義との関係 6．カースト論 5 カーストと政治 7．ダリト研究の最前線 8．宗教と植民地主義 9．世俗主義論争 10．サバルタン・スタディーズ 11．サバルタン・スタディーズ批判 12．国家と主権論 13．メディア論 14．汚職の人類学 15．インフラストラクチャーの人類学					
【履修要件】					
特になし					
【成績評価の方法・観点】					
平常点評価					
----- 南アジア地域論 (2)へ続く -----					

南アジア地域論 (2)

[教科書]

使用しない

[参考書等]

(参考書)
授業中に紹介する

[授業外学修(予習・復習)等]

授業中に指示する。

(その他(オフィスアワー等))

オフィスアワー： 随時

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。

科目ナンバリング		G-AAA03 53310 LJ31			
授業科目名 <英訳>	ヒマラーヤ地域論 Himalayan Area Studies	担当者所属・ 職名・氏名	アジア・アフリカ地域研究研究科 アジア・アフリカ地域研究研究科	教授 藤倉 達郎 特定助教 高道 由子	
配当学年	1-5回生	単位数	2	開講年度・開講期	2024・前期
曜時限	水2	授業形態	講義（対面授業科目）	使用言語	日本語
【授業の概要・目的】					
ヒマラーヤ地域への、主に社会・文化人類学的／民族誌的アプローチについて検討する。この授業を通して、人類学とその関連分野（地理学、社会学、政治学、宗教学等々）でどのような問題設定が行われており、現在から招来にかけてどのような問題設定と調査が可能かを探求する。					
【到達目標】					
ヒマラーヤに関する民族誌的研究における主な論点とアプローチについて主体的に検討する能力をつける。 (この講義はグローバル地域研究専攻南アジアインド洋世界論講座の授業である。)					
【授業計画と内容】					
ヒマラーヤ地域研究に関連する文献講読と議論を行う。用いる文献については、受講生と相談の上、決定する。これまでの講義でとりあげた文献には次のものが含まれるー川喜田二郎『ヒマラーヤの文化生態学』;James Fisher, Himalayan Anthropology: The Indo-tibetan Interface; Sara Shneiderman, Rituals of Ethnicity: Thangmi Identities Between Nepal and India; Lauren Leve, The Buddhist Art of Living in Nepal: Ethical Practice and Religious Reform; Robert Desjarlais, Subject to Death: Life and Loss in a Buddhist World.					
1. ヒマラーヤ地域研究の概観と文献紹介					
2. 文献1講読					
3. 文献1講読					
4. 文献1講読					
5. 文献2講読					
6. 文献2講読					
7. 文献3講読					
8. 文献3講読					
9. 文献4講読					
10. 文献4講読					
11. 文献5講読					
12. 文献6講読					
13. 文献6講読					
14. 総括議論 1					
15. 総括議論 2					
なお、受講状況により変更することがある。					
----- ヒマラーヤ地域論 (2)へ続く -----					

ヒマラヤ地域論 (2)

【履修要件】

特になし

【成績評価の方法・観点】

自らの研究関心との関わりで、どの程度講義内容を習得したかを評価する。
評価方法は平常点

【教科書】

使用しない

【参考書等】

(参考書)
授業中に紹介する

【授業外学修(予習・復習)等】

授業中に指示する文献を読んだ上で参加する。

(その他(オフィスアワー等))

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。

科目ナンバリング		G-AAA03 83314 SJ31			
授業科目名 <英訳>	南アジア政治論 Politics in South Asia		担当者所属・ 職名・氏名	アジア・アフリカ地域研究研究科 教授 中溝 和弥	
配当学年	1-5回生	単位数	2	開講年度・開講期	2024・後期
曜時限	金3	授業形態	演習（対面授業科目）	使用言語	日本語
【授業の概要・目的】					
<p>南アジアは現在、大きく変化している。2023年に世界最大の人口を擁する国となり、「世界最大の民主主義国」を喧伝するインドでは、ヒンドゥー至上主義が勢力を強め、権威主義化が進行している。2008年に民主化を果たしたパキスタンでも、軍が依然として隠然とした権力を行使している。このように南アジアは、例えば民主主義と紛争や暴力、民主主義と経済成長との関わりという社会科学の重要な課題を考察する上で、大変貴重なフィールドを提供している。本演習においては、南アジア地域研究を通じて世界が直面する重要な課題に取り組む手がかりを見つけたい。</p>					
【到達目標】					
<p>南アジア政治、とりわけインド政治に関する基本的な知識を身につけた上で、南アジア世界を超えて世界に存在する貧困や暴力、不平等、人類の共生といった重要な課題を考察する手がかりを得ることができる。</p>					
【授業計画と内容】					
<p>本演習では最初の7回を使って、インド政治に関する講義を行う。その上で、インド政治に関する文献を講読する。なお、講読文献については受講生と相談の上、変更する可能性がある。</p> <p>【講義内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1．イギリスによる植民地支配 2．英領インドにおける独立運動 3．印パ分離独立 4．会議派システムの時代 5．会議派 - 野党システムの時代 6．競合的多党制期、BJPシステムの時代 7．権威主義革命の実態 <p>【演習内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 8．印パ分離独立の悲劇 9．インド民主主義の現在 10．宗教暴動 11．多極共存型民主主義の可能性 					
【履修要件】					
特になし					
----- 南アジア政治論(2)へ続く -----					

南アジア政治論(2)

[成績評価の方法・観点]

平常点評価（課題、授業への参加状況、授業における発言等）：7割、期末レポート：3割

[教科書]

授業中に指示する

[参考書等]

（参考書）

中溝和弥 『インド 暴力と民主主義 一党優位支配の崩壊とアイデンティティの政治』（東京大学出版会）（独立後のインド政治は、主にこのテキストに基づいて講義します。）

粕谷祐子 『アジアの脱植民地化と体制変動』（白水社、2022年）ISBN:978-4-560-09886-8

そのほかの文献は、授業中に紹介します。

[授業外学修（予習・復習）等]

自分が担当する文献についてはもちろんのこと、担当しない文献についてもきちんと読んできてください。

（その他（オフィスアワー等））

オフィスアワーは特に指定しません。質問や研究相談などあれば、適宜受け付けます。授業後やメールで連絡をお願いします。

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。

科目ナンバリング	G-AAA03 53802 SB31				
授業科目名 <英訳>	グローバル地域研究演習 Research Seminar on Global Area Studies I	担当者所属・ 職名・氏名	アジア・アフリカ地域研究研究科 教授 グローバル地域研究専攻全教員		
配当学年	1,2回生	単位数	3	開講年度・開講期	2024・前期
曜時限	水3	授業形態	ゼミナール(対面授業科目)	使用言語	日本語及び英語
[授業の概要・目的]					
グローバル地域研究について、グローカリゼーションと地域の固有性の相関性、アジア・アフリカの平和共生および生存基盤、イスラーム世界および南アジア・インド洋世界の特質などについて明らかにするとともに、グローバル地域研究の基礎的な問題群とアプローチの方法に関する演習をおこなう。					
[到達目標]					
グローバル地域研究の基礎的な問題群を理解し、様々なアプローチを主体的に検討する能力を身につける。					
[授業計画と内容]					
第1週 オリエンテーション 第2 - 14週 各自の研究報告を中心とする演習 第15週 まとめ					
[履修要件]					
博士予備論文審査にまだ合格していない者。					
[成績評価の方法・観点]					
発表内容および出席により評価するが、ゼミの中での積極的な姿勢も考慮に入れる。					
[教科書]					
授業中に指示する					
[参考書等]					
(参考書) 授業中に紹介する					
[授業外学修(予習・復習)等]					
指導教員と相談しておこなう。					
(その他(オフィスアワー等))					
オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。					

科目ナンバリング	G-AAA03 53803 SB31				
授業科目名 <英訳>	グローバル地域研究演習 Research Seminar on Global Area Studies II	担当者所属・ 職名・氏名	アジア・アフリカ地域研究研究科 教授 グローバル地域研究専攻全教員		
配当学年	1,2回生	単位数	3	開講年度・開講期	2024・後期
曜時限	水3	授業形態	ゼミナール(対面授業科目)	使用言語	日本語及び英語
【授業の概要・目的】					
グローバル地域研究について、グローカリゼーションと地域の固有性の相関性、アジア・アフリカの平和共生および生存基盤、イスラーム世界および南アジア・インド洋世界の特質などの分野に関する具体的な事例をとりあげ、研究課題の構築とそのアプローチの方法についての演習をおこなう。					
【到達目標】					
具体的な研究課題の構築とアプローチについて主体的に検討する能力を身につける。					
【授業計画と内容】					
第1週 オリエンテーション 第2 - 14週 各自の研究報告を中心とする演習 第15週 まとめ					
【履修要件】					
博士予備論文審査にまだ合格していない者。					
【成績評価の方法・観点】					
発表内容および出席により評価するが、ゼミの中での積極的な姿勢も考慮に入れる。					
【教科書】					
授業中に指示する					
【参考書等】					
(参考書) 授業中に紹介する					
【授業外学修(予習・復習)等】					
指導教員と相談して決める。					
(その他(オフィスアワー等))					
オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。					

科目ナンバリング	G-AAA03 73804 SB31				
授業科目名 <英訳>	グローバル地域研究演習 Research Seminar on Global Area Studies III	担当者所属・ 職名・氏名	アジア・アフリカ地域研究研究科 教授 グローバル地域研究専攻全教員		
配当学年	3-5回生	単位数	3	開講年度・開講期	2024・前期
曜時限	水5	授業形態	ゼミナール(対面授業科目)	使用言語	日本語及び英語
【授業の概要・目的】					
グローバル地域研究について、グローカリゼーションと地域の固有性の相関性、アジア・アフリカの平和共生および生存基盤、イスラーム世界および南アジア・インド洋世界の特質などの分野に関する総合的な問題把握と研究方法についての演習をおこなう。また、博士論文作成のために、多角的な視点からの評価や指導をおこなう。					
【到達目標】					
博士論文作成に向けての研究課題の明確化とアプローチの精緻化。					
【授業計画と内容】					
第1週 オリエンテーション 第2 - 14週 各自の研究報告を中心とする演習 第15週 まとめ					
【履修要件】					
博士予備論文の審査に合格した者。					
【成績評価の方法・観点】					
発表内容および出席により評価するが、ゼミの中での積極的な姿勢も考慮に入れる。					
【教科書】					
授業中に指示する					
【参考書等】					
(参考書) 授業中に紹介する					
【授業外学修(予習・復習)等】					
指導教員と相談して決める。					
(その他(オフィスアワー等))					
オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。					

科目ナンバリング	G-AAA03 73805 SB31				
授業科目名 <英訳>	グローバル地域研究演習 Research Seminar on Global Area Studies IV	担当者所属・ 職名・氏名	アジア・アフリカ地域研究研究科 教授 グローバル地域研究専攻全教員		
配当学年	3-5回生	単位数	3	開講年度・開講期	2024・後期
曜時限	水5	授業形態	ゼミナール(対面授業科目)	使用言語	日本語及び英語
【授業の概要・目的】					
グローバル地域研究について、グローカリゼーションと地域の固有性の相関性、アジア・アフリカの平和共生および生存基盤、イスラーム世界および南アジア・インド洋世界の特質などの分野に関する先端的な問題群と研究方法についての演習をおこなう。また、博士論文についての相互討論を深め、創造的で自立的な研究へ向けての評価や指導をおこなう。					
【到達目標】					
博士論文作成の進展と、創造的で自立的な研究能力の獲得。					
【授業計画と内容】					
第1週 オリエンテーション 第2 - 14週 各自の研究報告を中心とする演習 第15週 まとめ					
【履修要件】					
博士予備論文の審査に合格した者。					
【成績評価の方法・観点】					
発表内容および出席により評価するが、ゼミの中での積極的な姿勢も考慮に入れる。					
【教科書】					
授業中に指示する					
【参考書等】					
(参考書) 授業中に紹介する					
【授業外学修(予習・復習)等】					
指導教員と相談して決める。					
(その他(オフィスアワー等))					
オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。					

科目ナンバリング	G-AAA03 63806 GB31				
授業科目名 <英訳>	グローバル地域研究論課題研究 Guided Research on Global Area Studies I	担当者所属・ 職名・氏名	アジア・アフリカ地域研究研究科 指導教員		
配当学年	1,2回生	単位数	2	開講年度・開講期	2024・通年不定
曜時限	その他	授業形態	ゼミナール(対面授業科目)	使用言語	日本語及び英語
[授業の概要・目的]					
博士予備論文の基礎となる個別課題に関する学生の研究内容について討議し、フィールドワークの視点と方法を練り上げるための演習。					
[到達目標]					
博士予備論文に関する基本的事項を理解する。					
[授業計画と内容]					
指導教員の3名が、学生の博士予備論文の進捗状況に合わせて、随時、個別演習をおこなう。					
[履修要件]					
博士予備論文審査にまだ合格していない者。					
[成績評価の方法・観点]					
課題への積極的な取り組みとその達成度を評価する。					
[教科書]					
授業中に指示する					
[参考書等]					
(参考書) 授業中に紹介する					
[授業外学修(予習・復習)等]					
自らの研究テーマに沿った資料の収集, 分析					
(その他(オフィスアワー等))					
オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。					

科目ナンバリング	G-AAA03 73807 GB31				
授業科目名 <英訳>	グローバル地域研究論課題研究 Guided Research on Global Area Studies II	担当者所属・ 職名・氏名	アジア・アフリカ地域研究研究科 指導教員		
配当学年	3-5回生	単位数	2	開講年度・開講期	2024・通年不定
曜時限	その他	授業形態	ゼミナール(対面授業科目)	使用言語	日本語及び英語
[授業の概要・目的]					
博士論文の基礎となる個別課題に関する学生の研究内容について討議し、学際化と研究内容の深化を図るための演習。					
[到達目標]					
博士論文に関する基本的事項を理解する。					
[授業計画と内容]					
指導教員の3名が、学生の博士論文準備の進捗状況に合わせて、随時、個別演習をおこなう。					
[履修要件]					
博士予備論文審査に合格した者。					
[成績評価の方法・観点]					
課題への積極的な取り組みとその達成度を評価する。					
[教科書]					
授業中に指示する					
[参考書等]					
(参考書) 授業中に紹介する					
[授業外学修(予習・復習)等]					
自らの研究テーマに沿った資料の収集, 分析					
(その他(オフィスアワー等))					
オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。					

科目ナンバリング	G-AAA03 73808 GB31				
授業科目名 <英訳>	グローバル地域研究論課題研究 Guided Research on Global Area Studies III	担当者所属・ 職名・氏名	アジア・アフリカ地域研究研究科 指導教員		
配当学年	3-5回生	単位数	2	開講年度・開講期	2024・通年不定
曜時限	その他	授業形態	ゼミナール(対面授業科目)	使用言語	日本語及び英語
[授業の概要・目的]					
博士論文の作成に向けて、そこで提起された個別課題に関する学生の研究内容について討議し、それをさらに総合化・深化させるための演習。					
[到達目標]					
博士論文に関する事項の理解を総合化・深化させる。					
[授業計画と内容]					
指導教員の3名が、学生の博士論文作成の進捗状況に合わせて、随時、個別演習をおこなう。					
[履修要件]					
博士予備論文審査に合格した者。					
[成績評価の方法・観点]					
課題への積極的な取り組みとその達成度を評価する。					
[教科書]					
授業中に指示する					
[参考書等]					
(参考書) 授業中に紹介する					
[授業外学修(予習・復習)等]					
自らの研究テーマに沿った資料の収集, 分析					
(その他(オフィスアワー等))					
オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。					

科目ナンバリング	G-AAA03 53809 FB31				
授業科目名 <英訳>	グローバル臨地演習 Global Area Studies On-site Seminar I	担当者所属・ 職名・氏名	アジア・アフリカ地域研究研究科 研究科教員		
配当学年	1,2回生	単位数	2	開講年度・開講期	2024・通年不定
曜時限	その他	授業形態	講義と実習（対面授業科目）	使用言語	日本語及び英語
【授業の概要・目的】					
生態・社会・文化に根ざした地域の固有性を理解するとともに、地域が直面する現代的諸問題を研究課題として発見するためのフィールドワークの手法を習得する。					
【到達目標】					
フィールドワークに必要な基本的技法を身につける。					
【授業計画と内容】					
学生は教員とともに臨地調査の計画を立て（授業回数4回分）、その後教員の指導を受けながら臨地調査を行ない（授業回数10回分）、帰国後に指導教員の指導を受けながら報告書を作成する（授業回数1回分）。					
【履修要件】					
1年次に臨地教育を受けた者。この科目の単位付与方法については、下記のサイトを確認のこと。 https://www.asafas.kyoto-u.ac.jp/edu/Overseas/docs/rinchienshu-1-2-3.pdf					
【成績評価の方法・観点】					
臨地調査への積極的な取り組みとその達成度を評価する。					
【教科書】					
授業中に指示する					
【参考書等】					
（参考書） 授業中に紹介する					
【授業外学修（予習・復習）等】					
自らの研究テーマに沿った資料の収集、分析が求められる。					
（その他（オフィスアワー等））					
オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。					

科目ナンバリング	G-AAA03 63810 FB31				
授業科目名 <英訳>	グローバル臨地演習 Global Area Studies On-site Seminar II	担当者所属・ 職名・氏名	アジア・アフリカ地域研究研究科 研究科教員		
配当学年	2-5回生	単位数	2	開講年度・開講期	2024・通年不定
曜時限	その他	授業形態	講義と実習（対面授業科目）	使用言語	日本語及び英語
【授業の概要・目的】					
地域が直面する現代的諸問題を研究課題としてフィールドワークをおこなう手法を習得する。					
【到達目標】					
自らの研究テーマを発展させるための応用的なフィールドワーク手法を身につける。					
【授業計画と内容】					
学生は教員とともに臨地調査の計画を立て（授業回数4回分）、その後教員の指導を受けながら臨地調査を行ない（授業回数10回分）、帰国後に指導教員の指導を受けながら報告書を作成する（授業回数1回分）。					
【履修要件】					
2年次以降で博士予備論文提出前に臨地教育を受けた者。この科目の単位付与方法については、下記のサイトを確認のこと。 https://www.asafas.kyoto-u.ac.jp/edu/Overseas/docs/rinchienshu-1-2-3.pdf					
【成績評価の方法・観点】					
臨地調査への積極的な取り組みとその達成度を評価する。					
【教科書】					
授業中に指示する					
【参考書等】					
（参考書） 授業中に紹介する					
【授業外学修（予習・復習）等】					
自らのフィールドに関連する資料の収集，分析が求められる。					
（その他（オフィスアワー等））					
オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。					

科目ナンバリング	G-AAA03 73811 FB31				
授業科目名 <英訳>	グローバル臨地演習 Global Area Studies On-site Seminar III	担当者所属・ 職名・氏名	アジア・アフリカ地域研究研究科 研究科教員		
配当学年	3-5回生	単位数	2	開講年度・開講期	2024・通年不定
曜時限	その他	授業形態	講義と実習（対面授業科目）	使用言語	日本語及び英語
【授業の概要・目的】					
フィールドワークの過程で発見された具体的な研究課題について、国際機関やNGO、研究機関等において研究発表や討論をおこなうとともに、必要に応じて研究課題に即した実践活動をおこなう。					
【到達目標】					
フィールドワークで得られた自らの知見について、英語あるいは現地語でプレゼン・議論できるようになる。					
【授業計画と内容】					
学生は教員とともに研究発表や実践活動の計画を立て（授業回数4回分）、その後教員の指導を受けながら臨地でそれを行ない（授業回数10回分）、帰国後に指導教員の指導を受けながら報告書を作成する（授業回数1回分）。					
【履修要件】					
博士予備論文提出後に臨地教育を受けた者（インターンシップを含む）。ただし、博士予備論文提出後、その Semester 内に臨地教育を受けた者は臨地演習 の単位とする。この科目の単位付与方法については、下記のサイトを確認のこと。 https://www.asafas.kyoto-u.ac.jp/edu/Overseas/docs/rinchienshu-1-2-3.pdf					
【成績評価の方法・観点】					
臨地調査への積極的な取り組みとその達成度を評価する。					
【教科書】					
授業中に指示する					
【参考書等】					
（参考書） 授業中に紹介する					
【授業外学修（予習・復習）等】					
自らの研究テーマに沿った資料の収集、分析が求められる。					
（その他（オフィスアワー等））					
オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。					